

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月 日

協議会名:三次市地域公共交通会議

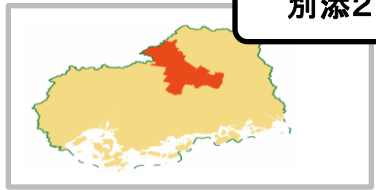
評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
備北交通株式会社	市街地循環バスくるん (三次町循環) (南畑敷町循環)  赤名線  下高野線  作木線②	【共通】 ・昨年度に引き続き、公共交通の新規利用者を創出するため、福祉部門と連携し、介護支援専門員(ケアマネジャー)向けの研修会において、路線バス等の利用促進に係る市の支援事業(高齢者運転免許自主返納支援事業、三次市相乗りタクシー事業)の周知を図った。  【下高野線】 【作木線②】 【川の駅三次線】 ・運行主体と連携し、フリー乗降区間を記載したバスまっぷをホームページに掲載し、利用促進を図った。  【さくぎニコニコ便】 ・運行主体と連携し、町内の広報誌等を用いて周知を図った。	A 計画通り事業は適切に実施された。	B 1循環あたりの利用者数が5.1人で、目標(5.4人以上)に達しなかった。 収支率が11.6%で、目標(22.8%以上)に達しなかった。 公的負担額が13,878千円で、目標(10,032千円)に達しなかった。 しかしながら、中心市街地での通院や買い物等の移動支援を図ることができた。  B 1便あたりの利用者数が3.8人で、目標(4.3人以上)に達しなかった。 収支率が12.7%で、目標(17.3%以上)に達しなかった。 公的負担額が25,208千円で、目標(22,267千円)に達しなかった。 しかしながら、三次中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。  B 1便あたりの利用者数が5.0人で、目標(5.3人以上)に達しなかった。 収支率が11.8%で、目標(17.6%以上)に達しなかった。 公的負担額が30,474千円で、目標(22,268千円)に達しなかった。 しかしながら、三次中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。  B 1便あたりの利用者数が3.3人で、目標(4.1人以上)に達しなかった。 収支率が10.9%で、目標(18.0%以上)に達しなかった。 公的負担額が19,018千円で、目標(13,573千円)に達しなかった。 しかしながら、三次中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。	【共通】 ・引き続き、地域、関係自治体及び運行事業者と協議を行い、利用状況等を勘案しながら、再編・ダイヤ改善等を検討していく。  ・引き続き、介護支援専門員(ケアマネジャー)向けの研修会等において、市の支援事業(高齢者運転免許自主返納支援事業、三次市相乗りタクシー事業)や公共交通に関する周知を図る。  【下高野線】 【作木線②】 【川の駅三次線】 ・フリー乗降での利用方法等を周知することで利用促進を図る。
有限会社君田交通	川の駅三次線			B 1便あたりの利用者数が1.1人で、目標(2.0人以上)に達しなかった。 収支率が3.1%で、目標(3.6%以上)に達しなかった。 公的負担額が34,798千円で、目標(30,657千円)に達しなかった。 しかしながら、三次中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。	
NPO法人元気むらさきぎ	さくぎニコニコ便 (作木町上地区) (作木町中地区) (作木町下地区)			B 1月あたりの利用者数が32人で、目標(47人以上)に達しなかった。 収支率が5.3%で、目標(8.9%以上)に達しなかった。 公的負担額が2,087千円で、目標(1,981千円)に達しなかった。 しかしながら、路線バスへの接続、外出機会の提供、医療機関等への移動支援を図ることができた。	

# 令和7年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価

## 三次市地域公共交通会議

### 地域公共交通計画(地域内フィーダー系統)の概要



#### 三次市の概要

- ・平成16年4月に1市4町3村が合併
- ・人口 50,681人(令和2年度国勢調査)
- ・面積 778.14km<sup>2</sup>

#### 三次市地域公共交通会議の構成員

三次市, 広島県, 広島運輸支局, 備北交通(株), (有)君田交通  
三次みどりタクシー(株), 西日本旅客鉄道(株)広島支社, 三次警察署  
学識経験者, 私鉄中国地方労組備北支部, 住民又は利用者の代表

#### 概要

三次市は平成16年に旧三次市と双三郡, 甲奴郡甲奴町が合併し広域な市となり, 広域移動を中心として主要拠点間の移動を路線バスが担っている。しかし, 急速な少子高齢化の進展や人口減少, マイカー利用を前提とした生活スタイルの定着等により, 公共交通の利用は減少傾向にあり, その維持確保が困難な状況が生じている。一方で, 合併による生活圏域の広域化等により市民の移動ニーズは多様化しており, こうしたニーズに対応した効果的・効率的な公共交通サービスの提供が必要である。持続可能な地域内交通を確保維持する取組として, 市街地を循環するバス「くるるん」, 区域運行の公共交通空白地有償運送「さくぎニコニコ便」の運行を実施している。また広域移動として, 赤名線, 下高野線の運行を実施しているほか, 平成30年4月からは, 三江線代替交通である作木線と川の駅三次線の運行を実施している。

#### 協議会の主な取り組み

- ・市街地循環バスの整備, 運行, 改善
- ・地域内生活交通の再編
- ・路線バスの運行, 再編
- ・三次市相乗りタクシー事業の推進
- ・公共交通の利用促進策の推進(バスの乗り方教室等)

など交通計画事業の実施, 達成状況の評価・改善

- ・公共交通空白地域における有償運送の運営補助

#### 協議会における検討

交通会議の開催状況 5回開催

- ・令和6年度第4回(12月20日)  
令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について
- ・令和6年度第5回(3月27日)※書面審議  
令和7年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部変更について
- ・令和7年度第1回(6月30日)  
令和7年度三次市地域公共交通会議役員, 令和7年度三次市地域公共交通会議事業計画及び予算(案), 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請, 三次市地域交通計画(第2期)の策定について
- ・令和6年度第2回(8月13日)※書面審議  
世羅町運営有償運送の登録更新に伴う三次市への乗り入れ継続について
- ・令和6年度第3回(9月29日)※書面審議  
三次市民バス車両の更新(移動円滑化基準の適用除外認定申請), 令和8年度地域内フィーダー系統確保維持計画の一部変更について

## 定量的な目標・効果

＜※利用者数は令和5年4月～令和6年3月実績，収支率・公的負担額は令和4年10月～令和5年9月実績＞

- ・市街地循環バスくるるん：(目標)1循環あたりの利用者数5.4人以上 <実績5.3人>，収支率22.8%以上<実績22.8%>，公的負担額10,032千円以下<実績10,032千円>  
(効果)中心市街地での通院や買い物等の移動支援
- ・赤名線：(目標)1便あたりの利用者数4.3人以上 <実績4.2人>，収支率17.3%以上<実績17.3%>，公的負担額22,267千円以下<実績22,267千円>  
(効果)三次市中心部への通勤・通学，通院，買い物等の移動支援
- ・下高野線：(目標)1便あたりの利用者数5.3人以上 <実績5.2人>，収支率17.6%以上<実績17.6%>，公的負担額22,268千円以下<実績22,268千円>  
(効果)三次市中心部への通勤・通学，通院，買い物等の移動支援
- ・作木線②：(目標)1便あたりの利用者数4.1人以上<実績4.0人>，収支率18.0%以上<実績18.0%>，公的負担額13,573千円以下<実績13,573千円>  
(効果)三次市中心部への通勤・通学，通院，買い物等の移動支援
- ・川の駅三次線：(目標)1便あたりの利用者数2.0人以上 <実績1.3人>，収支率3.6%以上<実績3.6%>，公的負担額30,657千円以下<実績30,657千円>  
(効果)三次市中心部への通勤・通学，津運，買い物等の移動支援
- ・さくぎニコニコ便：(目標)1月あたりの利用者数47人以上<実績46.2人>，収支率8.9%以上<実績8.9%>，公的負担額1,981千円以下<実績1,981千円>  
(効果)三次市中心部へ移動する際の路線バスへの接続，外出機会の提供，医療機関等への移動支援

## 昨年度の自己評価に対するフォローアップ

- ・共通  
介護支援専門員(ケアマネジャー)向けの研修会において，市の支援事業や公共交通に関する周知を図った。
- ・下高野線，作木線②，川の駅三次線  
フリー乗降での利用方法を周知することで利用促進を図った。
- ・さくぎニコニコ便  
町内の広報誌等を用いて利用促進を図った。

## 昨年度の運輸局二次評価に対するフォローアップ

- ・公共交通への関心を高める取組を引き続き実施した。

## 実施した利用促進策

- ・運行事業者の協力により，「子ども乗り放題パス」，「ちょこっとパス」及び「バス&レールどっちも割きつぷオプション券」の発売による市内路線バスの利用促進を図った。
- ・介護支援専門員(ケアマネジャー)向けの研修会において，市の支援事業や公共交通に関する周知を図った。
- ・運行主体と連携し，フリー乗降区間を記載したバスマップをホームページに掲載し，利用促進を図った。

## 地域住民の意見の反映

- ・各地域の住民自治組織単位で生活交通について協議を行い，ニーズや現状の把握による運行内容の見直しや利用促進を進めていくことを目的とした地域内生活交通検討会の設立を随時行っている。(令和8年1月現在，7カ所設立済み)
- ・作木町内の地域内生活交通検討会の意見をもとに，市民バスをデマンド化するよう検討を行った。

## 事業実施の適切性

- ・すべての路線(区域)において、運行事業者並びに関係団体の協力のもと、計画通り事業は適切に実施された。

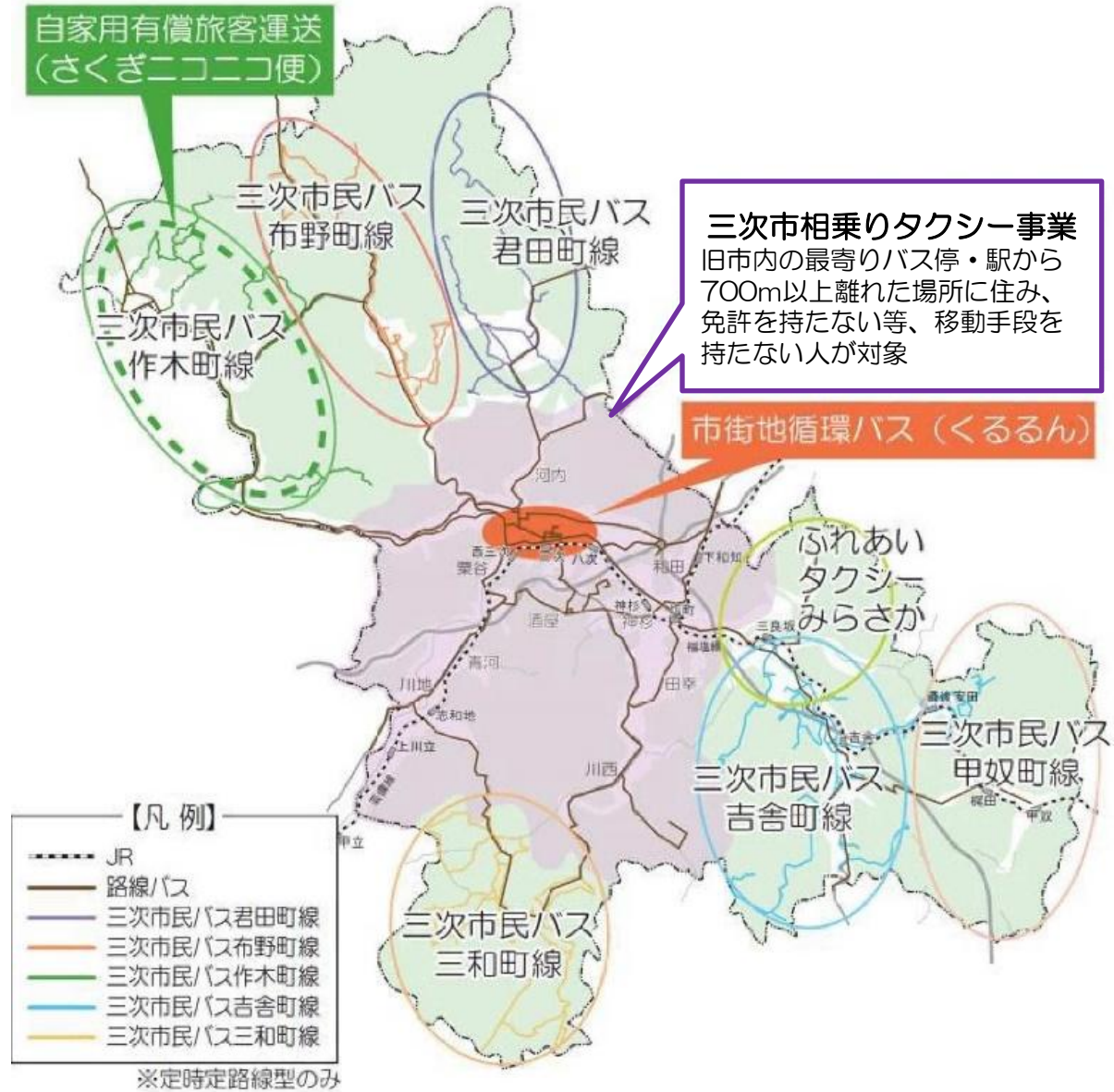
## 目標・効果達成状況

- ・市街地循環バスくるるん： (目標)1循環あたり5.1人で、目標(5.4人以上)に達しなかった。収支率が11.6%で、目標(22.8%以上)に達しなかった。公的負担額が13,878千円で、目標(10,032千円)に達しなかった。  
(効果)中心市街地での通院や買い物等の移動支援を図ることができた。
- ・赤名線： (目標)1便あたりの利用者数3.8人で、目標(4.3人以上)に達しなかった。収支率が12.7%で、目標(17.3%以上)に達しなかった。公的負担額が25,208千円で、目標(22,267千円)に達しなかった。  
(効果)三次市中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。
- ・下高野線： (目標)1便あたりの利用者数5.0人で、目標(5.3人以上)に達しなかった。収支率が11.8%で、目標(17.6%以上)に達しなかった。公的負担額が30,474千円で、目標(22,268千円)に達しなかった。  
(効果)三次市中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。
- ・作木線②： (目標)1便あたりの利用者数は3.3人で、目標(4.1人以上)に達しなかった。収支率が10.9%で、目標(18.0%以上)に達しなかった。公的負担額が19,018千円で、目標(13,573千円)に達しなかった。  
(効果)三次市中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。
- ・川の駅三次線： (目標)1便あたりの利用者数1.1人で、目標(2.0人以上)に達しなかった。収支率が3.1%で、目標(3.6%以上)に達しなかった。公的負担額が34,798千円で、目標(30,657千円)に達しなかった。  
(効果)三次市中心部への通院、通勤・通学、買い物等の移動支援を図ることができた。
- ・さきぎニコニコ便： (目標)1月あたりの利用者数32人で、目標(47人以上)に達しなかった。収支率が5.3%で、目標(8.9%以上)に達しなかった。公的負担額が2,087千円で、目標(1,981千円)に達しなかった。  
(効果)路線バスへの接続、外出機会の提供、医療機関等への移動支援を図ることができた。

## 事業の今後の改善点

- ・共通  
引き続き、地域・関係自治体・運行事業者と協議を行い、利用状況等を勘案しながら、再編・ダイヤ改善等を検討していく。  
引き続き、介護支援専門員(ケアマネジャー)向けの研修会等において、市の支援事業(高齢者運転免許自主返納支援事業、三次市相乗りタクシー事業)や公共交通に関する周知を図る。
- ・下高野線、作木線②、川の駅三次線  
フリー乗降での利用方法等を周知することで利用促進を図る。

# 交通体系図 別紙

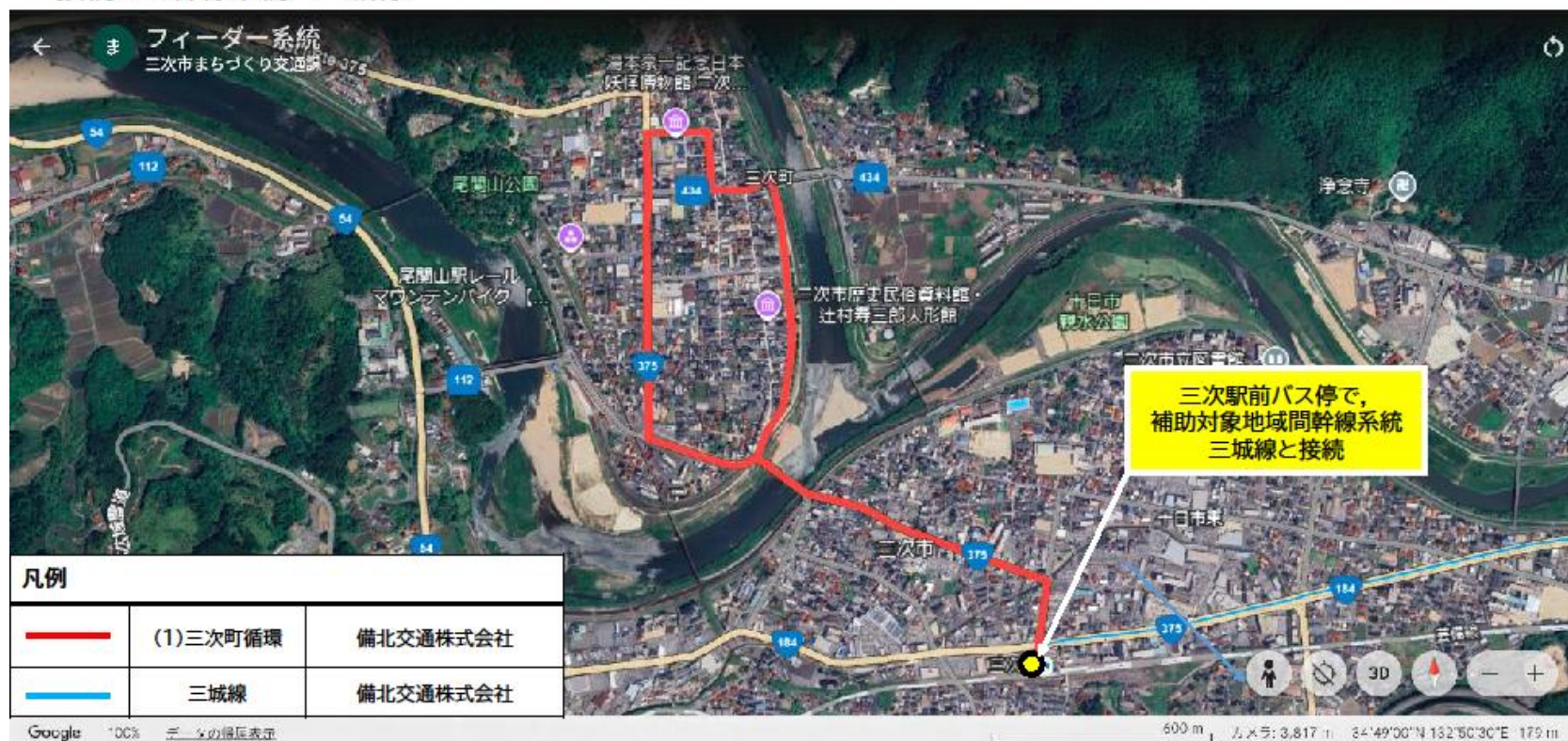


## 運行系統図 別紙

系統名	市街地循環バスくるるん(三次町循環)
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	1/1, 1/2を除く毎日運行 1日8便
運賃	一乗車200円(高校生まで100円)

### 系統図

- ・補助系統番号及び補助系統…(1)三次町循環(系統キロ程:4.6km)
- ・接続する幹線系統…三城線



## 運行系統図 別紙

系統名	市街地循環バスくるるん(南畑敷町循環)
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	1/1, 1/2を除く毎日運行 平日1日8便, 土休日1日4便
運賃	一乗車200円(高校生まで100円)

### 系統図

- ・補助系統番号及び補助系統…(2)南畑敷町循環(系統キロ程:9.8km)
- ・接続する幹線系統…三城線



## 運行系統図 別紙

系統名	赤名線
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	1/1, 1/2を除く毎日運行 1日4便
運賃	対キロ区間制(160円~1,220円)

### 系統図

- ・補助系統番号及び補助系統…(3)赤名線(系統キロ程:往路33.7km・復路33.9km)
- ・接続する幹線系統…三城線





## 運行系統図 別紙

系統名	作木線②
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	1/1, 1/2を除く毎日運行 1日2便
運賃	対キロ区間制(160円~1,350円)

### 系統図

- ・補助系統番号及び補助系統…(5)作木線②(系統キロ程:往路48.1km・復路48.3km)
- ・接続する幹線系統…三城線

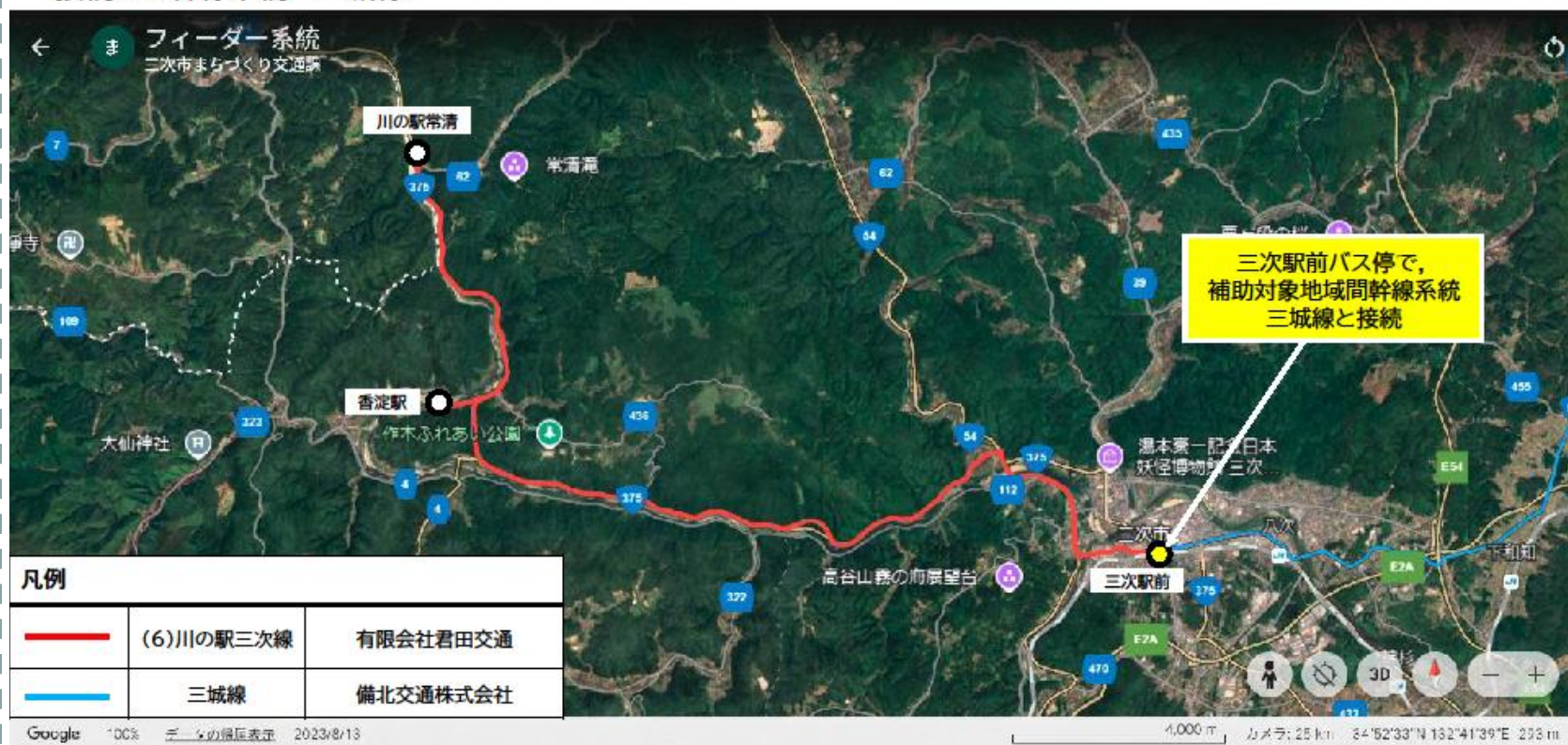


## 運行系統図 別紙

系統名	川の駅三次線
運行形態	4条路線・乗合バス型(定期)
運行日・便数	毎日運行 1日5便
運賃	対キロ区間制(170円~610円)

### 系統図

- ・補助系統番号及び補助系統…(6)川の駅三次線(系統キロ程:香淀駅経由あり23.9km・なし22.9km)
- ・接続する幹線系統…三城線



# 運行系統図 別紙

**系統名** さくぎニコニコ便(作木町上地区・中地区・下地区)  
**運行形態** 公共交通空白地有償運送・区域型(デマンド)  
**運行日・便数** (上地区)月・金 (中地区)木・金 (下地区)火・木 各日3便  
**運賃** 一乗車300円

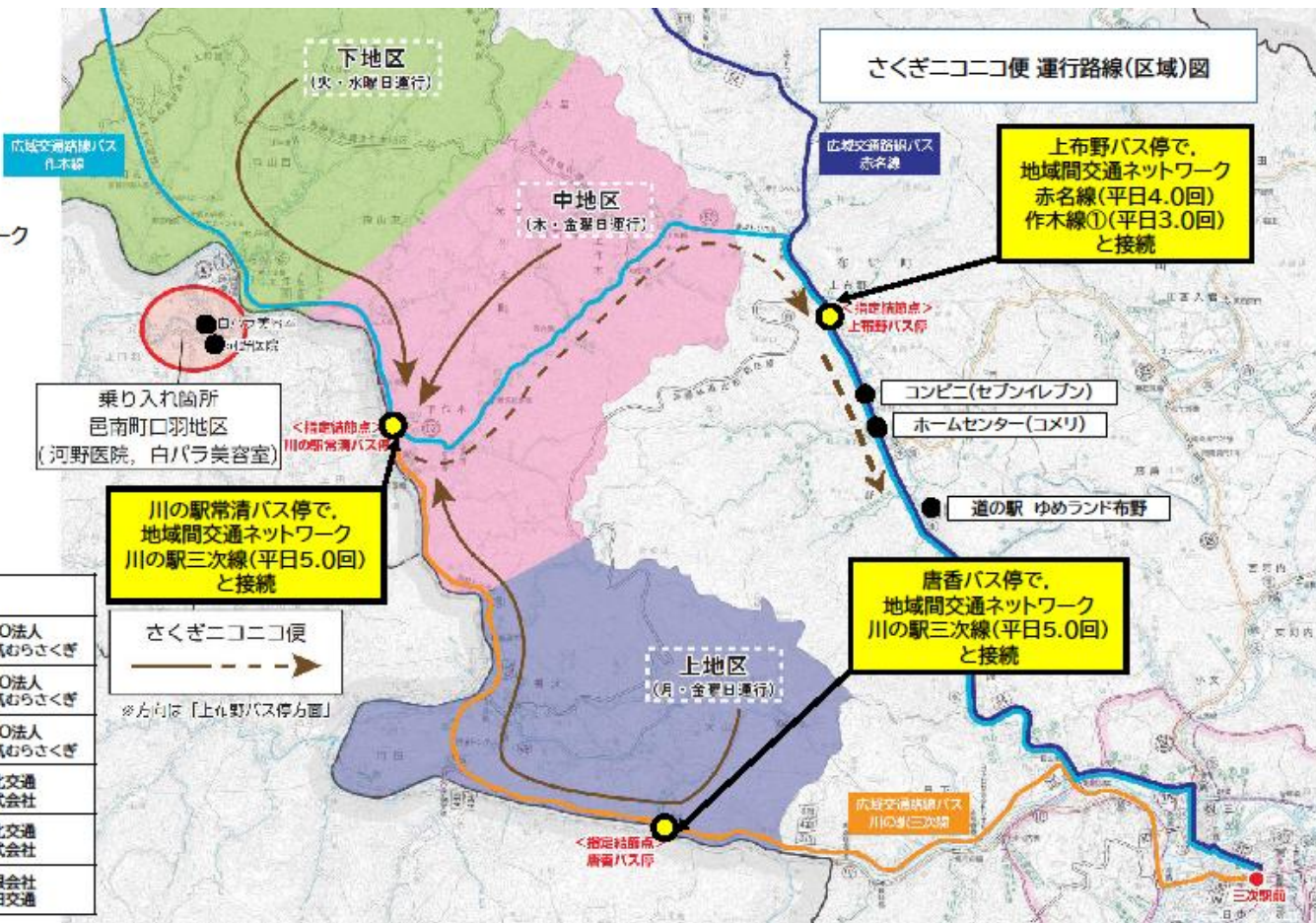
## 系統図

### ・補助系統番号及び補助系統

- …(7)作木上地区
- …(8)作木中地区
- …(9)作木下地区

### ・接続する地域間交通ネットワーク

- …赤名線
- …作木線①
- …川の駅三次線



## 凡例

	(7)作木上地区	NPO法人 元氣むらさきぎ
	(8)作木中地区	NPO法人 元氣むらさきぎ
	(9)作木下地区	NPO法人 元氣むらさきぎ
	赤名線	備北交通 株式会社
	作木線①	備北交通 株式会社
	川の駅三次線	有限会社 君田交通

さくぎニコニコ便  
 ※方向は「上野野バス停方面」